



# LinkCube連続変換

## 複数ファイルを指定した形式で保存できる

複数ファイルを連続して指定した形式に保存できます。

単純な連続変換だけでなく、独自のスクリプト（JavaScript、VBScript、AppleScript）を処理しながら、連続変換することもできます。

変換元の形式は、indd、indt、idml、idms

変換先の形式は、indd、indt、pdf、jpg、EPS、epub、idml です。

jpg、EPS、epub に変換する場合、各ファイルの現在の書き出し設定値を使用します。

pdf ファイルに変換する場合は、プリセットを指定できます。

各変換形式の保存先に、任意の名前のフォルダ（変換元の相対パス、または絶対パス）を指定できます。

複数の変換設定が可能なため、indd を一度に、Web 用 PDF と印刷用 PDF へ変換することもできます。

ファイル変換方法は、任意のファイルを選択する方法と、監視フォルダを選択する方法の2種類あります。

監視フォルダの場合は、監視フォルダに「変換元」サブフォルダが作成され、変換の終わった元ファイルは「変換元」フォルダに移動されます。

また、シェルコマンドでのファイル変換にも対応しています。

## Mac 版 実行方法

初回起動時のみ [実行 .command] を Control キーを押したままクリック（コンテキストメニューを表示）で「開く」し、「開く」をクリックします。

次回以降起動時は、[実行 .command] をダブルクリックします。

アプリを終了してもターミナルが残っているのが気になる場合は、ターミナルの環境設定で  
プロファイル→シェル→シェルの終了時を、シェルが正常に終了した場合は閉じるにしてください。

メニューバーから使用する InDesign のバージョンを選択します。

## Windows 版 実行方法

[実行 .bat] をダブルクリックします。

メニューバーから使用する InDesign のバージョンを選択します。

## PDF 書き出しプリセット

変換先ファイルが PDF の場合、PDF 書き出しプリセットが指定できます。


一度だけ「PDF 書き出しプリセットの取得」ボタンをクリックしてください。

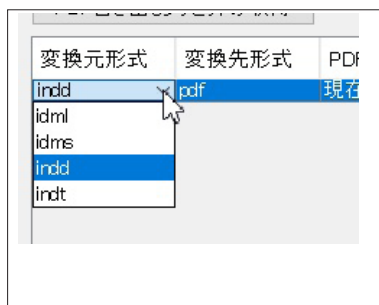
プリセットを追加、削除した場合も、「PDF 書き出しプリセットの取得」ボタンをクリックしてください。

| PDF書き出しプリセットの取得 |       |  |         |
|-----------------|-------|--|---------|
| 変換元形式           | 変換先形式 | PDF書き出しプリセット   | 保存先フォルダ |
| indd            | pdf   | 現在のPDF書き出しプリセットを使用   | 変換先フォルダ |
| idml            | indd  | 現在のPDF書き出しプリセットを使用   | 変換先フォルダ |
|                 |       | [高品質印刷]<br>[雑誌広告送稿用]<br>[PDF/X-1a:2001 (日本)]<br>[PDF/X-3:2002 (日本)]<br>[PDF/X-4:2008 (日本)]<br>[プレス品質]<br>[最小ファイルサイズ] |         |
| ユーザースクリプト処理     |       |  |         |

## 変換元形式・変換先形式・保存先フォルダ

1. 変換元形式の拡張子を選択します。変換元の形式は、indd、indt、idml、idms です。
2. 変換先形式の拡張子を選択します。変換先形式は、indd、indt、pdf、jpg、EPS、epub、idml です。
3. 保存先フォルダを、変換元のサブフォルダにする場合は、サブフォルダ名を入力します。（例：[変換先] 変換元の相対パス）。
4. 保存先フォルダをドラッグ&ドロップで追加すると、フルパス指定（絶対パス）になります。

 **フォルダ名に使用できない文字**  
 フォルダ名に次の文字は使えません。  
 ¥ / < > : \* ? " |




## ユーザースクリプト処理の追加・削除

[追加] ボタン、またはドラッグ&ドロップで独自のスクリプトファイルを追加することができます。変換元の1ファイルに対し、追加したスクリプトファイルを上から順番に実行し、変換先の形式で保存します。追加したユーザースクリプトファイルは、ドラッグ&ドロップで並び順を変更することができます。ファイル形式変換だけでなく、複数の indd ファイルにスクリプト処理を実行したい場合は、変換元を indd、変換先を indd とし、ユーザースクリプトを追加すれば、開発工数を減らすことができます。

## ファイル選択で変換

[変換元ファイル追加] ボタンをクリックし、変換したいファイルを選択します。（変換元形式で選択した拡張子のファイルが選択できます）変換元ファイルは、ドラッグ&ドロップでも追加できます。  
 [変換元ファイル削除] ボタンで、リストからファイルを削除します。  
 [変換実行] ボタンで、リストにあるファイルを変換設定に従い、指定した保存先フォルダに、変換したファイルを保存します。  
 実行中の InDesign のバージョン以降に作成された indd ファイルと indt ファイルは変換できません。

 **ファイルは複数選択可能**  
 Tips  
 ファイル選択時、  
 (Win) Ctrl キー /  
 (Mac) command キー + クリック、  
 Shift キー + クリック  
 などで複数選択できます。

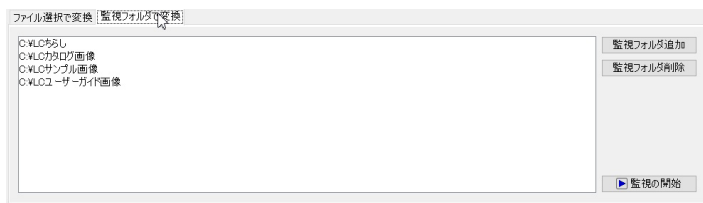


## 監視フォルダで変換

[監視フォルダ追加] ボタンで、リストに監視フォルダを追加します。

監視フォルダは、ドラッグ&ドロップでも追加できます。

[監視フォルダ削除] ボタンで、リストから監視フォルダを削除します。



[監視の開始] ボタンをクリックすると、監視フォルダのファイルを変換設定に従い、変換します。

変換されたファイルは、指定した保存先フォルダに保存されます。元のファイルは「変換元」フォルダに移動されます。

[監視の終了] ボタンをクリックすると、監視を終了します。

## 変換エラーについて

Mac 版は [実行 .command]、Win 版は [実行 .bat] と同じフォルダに、変換エラー .txt を出力します。

※リンクファイルが見つからない、フォント不足など

## シェルコマンドで実行する方法

リストファイル：フルパスのファイル名一覧

Mac の場合：

インストールフォルダ / 実行 .command "リストファイル"

例：リストファイル変換

インストールフォルダ / 実行 .command "/users/abc/desktop/fileList.csv"

Windows の場合：

インストールフォルダ / 実行 .bat "リストファイル"

例：リストファイル変換

インストールフォルダ / 実行 .bat "/users/abc/desktop/fileList.csv"

## 対応 OS・対応 InDesign

### 対応 OS:

Windows・Mac OS

### 対応 InDesign:

InDesignCS6～InDesign2024

## 更新情報

### バージョン: 19.0

2023年12月1日

## ソフトウェアに関するお問い合わせ先

### 合同会社リンクキューブ

<https://link-cube.net/>

mail: [info\\_lc@link-cube.net](mailto:info_lc@link-cube.net)